

情報メディア専門ユニット I 演習内容紹介

| コース | キャラクタ |
|-------|---|
| 担当教員 | 梶研吾、村上依子 |
| 演習概要 | 「声劇制作」の過程を通じて、キャラクタ作りの理解を深め、実際にオリジナルキャラクタを具体的な形で創出し、グループワークとコミュニケーションの大切さを学ぶ。特に、役作りに比重を置き、自らが演じるキャラクタをイメージし、なりきってみることで、キャラクタ本来の重要性和面白さを捉える。 |
| 各回の予定 | <p><学生諸氏の健康を第一に考慮し、コロナウイルス対策をとって、なるべく直接的な集合演習は行わない予定です></p> <p>第1回～第3回 1チーム5人～6人のグループ分けのうえ、各自1本ずつ声劇脚本を制作、グループ内で検討、各グループの代表脚本を選出</p> <p>第4回～第5回 各自演じるキャラクタを決め、イメージスケッチを描き、キャラクタプロフィールを作成</p> <p>第6回～第7回 各自、在宅にて自分のキャラクターのパートを練習、練習記録を提出 (ここまではメールやキャリアポートフォリオ等で対応)</p> <p>第8回～第11回 各グループごとに全員で練習、練習チェック</p> <p>第12回～第14回 各グループごとに全員の声を録音、編集して完成 完成した音声ファイルを各グループごとに提出 (ここまではzoom、または音声ファイル、効果音ファイル、音楽ファイル等をメールでやりとりする)</p> |
| その他 | コロナウイルスの影響の状況によって、予定変更もありませんが、昨年までの演劇制作ではなく、声だけの声劇制作に変更することで、なるべく直接接せず制作演習が行えるようにしますので、御協力をお願いします。 |